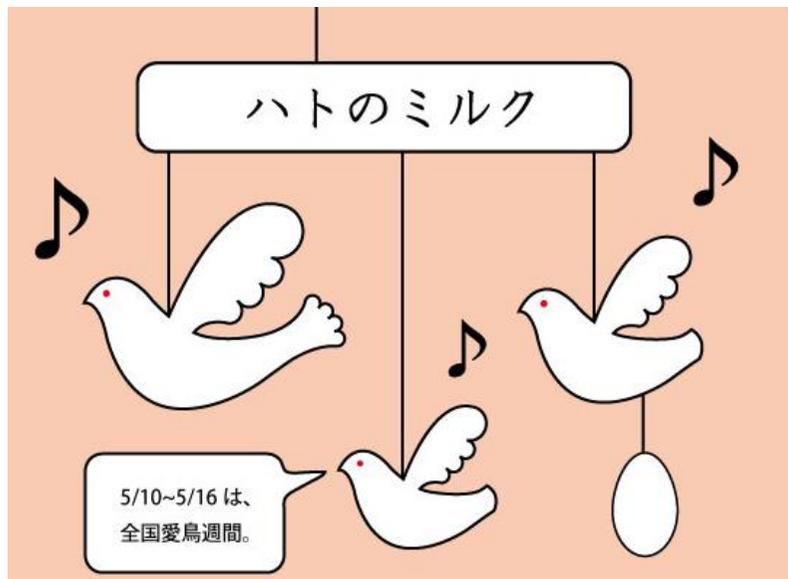


5

May

{ 5月に予定されているセンターのイベント情報や、  
 其他のお知らせについてご案内します。 }

### 5月のイベント:「ハトのミルク」 全国愛鳥週間関連イベント



「ハトはミルクで子育てするってホント!?!」実は、鳥の子育てにはオモシロいヒミツや工夫がたくさん詰まっています。漫湖で観察できる身近な鳥を中心に、鳥の意外な子育て事情について楽しく学んでみませんか? 楽しい鳥のモビールづくりも行います。

- 日時: 2014年5月11日(日) ※母の日 10:00~12:00
- 場所: 漫湖水鳥・湿地センター 研修室
- 定員: 20名
- 対象: 幼児~小学生までの親子
- 参加費: 無料
- 持ち物: 筆記用具、飲み物

[お問い合わせ・お申し込み] 漫湖水鳥・湿地センター ☎098-840-5121

Topic:

{ いきものファインダー  
 漫湖の風景 25 }



### 幼い耳が記憶していた、デデポーポー…。

ここに務める前の私は、生き物について無知と断言していいほどほとんど何も知らなかった。勿論、キジバトとドバトの違いも分からず、家の前で目にするハトは全部同じ「ハト」だった。あれから4年、仕事を覚えるのと同時に生き物についてもようやくそれなりに分かるようになってきた。

幼い頃、明け方になると聞こえてきた「デデポーポー」という鳴き声。それが何の鳴き声かは分からなかったが、確かに記憶として耳に残っていた。ここへ来て、その鳴き声がキジバトの鳴き声だと分かった瞬間の感動は今でも忘れられない。自然は面白い。だからこそ、何気ない漫湖の風景の一つ一つを大切にしたいと思う。そして、私のような感動を一人でも多くの人に味わって欲しい。そのために私にできることを、また一年、一つずつ積み上げていく。

## 漫湖水鳥・湿地センターが、 リニューアルオープンしました!!

皆様、大変長らくお待たせいたしました。昨年末から進めていました改修工事も無事終了し、去る3月30日に漫湖水鳥・湿地センターはリニューアルオープンいたしました!!当日は、ささやかではありますが、関係者を招待しオープニングセレモニーも行い、セレモニーに駆けつけてくれたエコクラブの子どもたちも式を盛り上げてくれました。テープカットの前には、リニューアルとあわせて公募していた「漫湖水鳥・湿地センターの新キャラクターの愛称」に採用された2名の方への記念品贈呈も行われました。ちなみに前号でもお伝えしましたが、キャラクターの愛称は、クロツラヘラサギは「クロ」、トントンミーは「トミー」に決まりました。当日、記念品を贈呈した2名は、多数の該当者の中から抽選で選ばれた幸運の持ち主です。しかも、これも何かの縁でしょうか、二人とも豊見城市内の学校に通う女の子という結果に、会場は和やかな笑いに包まれました。



新しくなった展示の前で、取材を受けるエコクラブのメンバー

テープカットをした後は一般開放となり、リニューアルを心待ちにしていたエコクラブのメンバーや地域の子もたちが、我先にと新しくなった館内に駆け込んでいました。

今回のリニューアルでは、老朽化した屋根の瓦の葺き替えと館内照明の省エネ化に加え、1Fの展示室と2Fの展望室・図書コーナー、そして館内のグラフィックなども新しくなっており、生まれかわったセンターに足を踏み入れた子どもたちは、目をキラキラさせながら、声をあげ楽しそうに遊んでいました。子どもたちだけでなく、以前からセンターを利用している一般の方々にも好評で、「明るくなった。」「展示物が楽しくなった。」という嬉しい声を頂きました。

私たち職員はというと、環境が変化して、改めて検討しなくてはいけない案件があったり、実は改修工事やリニューアルオープンで大変なことになっている資料や物品の片づけがまだ残っていたりと、新しい環境に慣れるまで少し時間がかかりそうです。

何はともあれ、生まれかわった漫湖水鳥・湿地センターをこれからもどうぞよろしくお願いたします。皆様のご来館を職員一同心よりお待ちしております。



愛称募集の応募してくれた女の子と関係者で記念撮影

■ 2014.3/1 — 2014.3/31

{ 漫湖で確認された野鳥 …………… 計 39 種 }

### 漫湖 寄鳥見鳥

### 漫湖で確認された鳥類一覧

3/13



### 距離が近いぞ、サシバ君。

昨年、漫湖で越冬したサシバが3月になって頻りに顔を見せるようになった。しかも、今までよりも観る距離が近くなった気がする。木道の手すりに止まっては、草むらをじっと睨み、勢いよく地面に飛び降りる。そしてまた近くの木に止まる。という行動を繰り返していた。ちょうどそこへ、いつも保護区の調査を行っている鳥の先生がやってきたので、その行動について教えてもらった。「この時期、渡りを控えたサシバは、腹ごしらえをするため、頻りに地面に降り立つようになる。そのため距離が近くなるから観察しやすい。」とのこと。納得である。

1. ヒドリガモ	26. シジュウカラ
2. キジバト	27. ツバメ
3. アオサギ	28. リュウキュウツバメ
4. ダイサギ	29. シロガシラ
5. チウサギ	30. ヒヨドリ
6. コサギ	31. ウグイス
7. クロツラヘラサギ	32. メジロ
8. オオバン	33. シロハラ
9. ムナグロ	34. イソヒヨドリ
10. ダイゼン	35. スズメ
11. コチドリ	36. キセキレイ
12. タシギ	37. ハクセキレイ
13. チウシャクシギ	38. アオジ
14. ダイシャクシギ	39. カワラバト※
15. ホウロクシギ	40.
16. アカアシシギ	41.
17. コアオアシシギ	42.
18. アオアシシギ	43.
19. クサシギ	44.
20. キアシシギ	45.
21. イソシギ	46.
22. ミサゴ	47.
23. サシバ	48.
24. カワセミ	49.
25. ハシブトガラス	50. ※は外来種

※この観察記録は、毎月実施されている鳥獣保護区の定点カウントの記録と、センターでの観察記録を基にまとめたものです。